

令和2年松江市議会決算特別委員会記録

1 日 時 令和2年9月2日（水曜日）午前10時41分開会・開議

2 場 所 本会議場

本日の会議に付した事件

委員長の互選について

副委員長の互選について

出席委員（32名）

河	内	大	輔
出	川	桃	子
細	木	明	美
太	田		哲
田	中		肇
米	田	とき	こ
三	島	伸	夫
岩	本	雅	之
新	井	昌	禎
野	津	照	雄
長	谷	川	修
柳	原		治
吉	儀	敬	子
橘		祥	朗
野	津	直	嗣
森	本	秀	歳
貴	谷	麻	以
川	島	光	雅
石	倉	徳	章
田	中	明	子
畑	尾	幸	生
吉	金		隆
南	波		巖
津	森	良	治
森	脇	勇	人
宅	野	賢	治
川	井	弘	光
篠	原		栄
三	島	良	信
三	島		進
立	脇	通	也
比	良	幸	男

欠席委員（なし）

事務局職員出席者

事務局長	角	清	司
次長	福	島	恵美子
議事調査課長	錦	織	靖浩
書記	仲	田	雅彦
書記	古	川	進
書記	山	根	広大

説明のため出席した者（なし）

〔午前10時40分臨時委員長紹介〕

○書記（仲田雅彦） 失礼いたします。決算特別委員会の書記を担当いたします仲田です。どうぞよろしくお願いいたします。

委員会条例の規定によりまして、委員長が互選されるまでの間、年長の委員が臨時委員長の職務を行うこととなっております。本日御出席の委員の皆様の中で比良幸男委員が年長の委員になられますので、臨時委員長をお願いいたします。

比良委員、どうぞよろしくお願いいたします。

〔比良委員委員長席に着く〕

〔午前10時41分開会・開議〕

○比良臨時委員長 おはようございます。

ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

委員長の互選について

○比良臨時委員長 これより委員長選挙を行います。

お諮りいたします。

委員長の選挙は指名推選の方法により行いますか、それとも投票により行いますか。

〔「指名」と呼ぶ者あり〕

○比良臨時委員長 それでは、指名推選の方法によ

り、私から指名いたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○比良臨時委員長 御異議なしと認め、三島良信委員を委員長に指名いたします。

ただいまの指名について御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○比良臨時委員長 御異議なしと認めます。

よって三島良信委員が委員長に当選されました。

ただいま委員長に当選されました三島良信委員の就任の御挨拶をお願いいたします。

○三島（良）委員長 先ほど決算特別委員長に指名推選、承認をいただきまして、ありがとうございますました。

決算におきましては、昨年の決算におきましては平成30年度の決算でございましたけれども、中核市になって初めての年度の決算でございまして、事務事業の移行、移譲によってそれに伴う各種の事業も行われて、かなりの予算ではなかったかとは思っております。

このたびの決算におきましては、令和元年度の一般会計の決算は事務事業やこうして大きな事業がたくさんありまして、特に学校関係の事業も多かったのではないかと感じております。南学校給食センターとか、それから全小中学校のエアコンの設置事業等がありまして、昨年に増して大きな予算になったのではないかと感じております。それだけではなくて、地方創生に関わる事業もありますし、また市民の安心・安全の事業も取り入れてあると、大事な事業があったのではないかと感じております。

とかく決算というと、終わった事業だからというように案件を見落としがちでありますけれども、次年度の予算の組立て等についても影響する、参考になる決算ではないかと感じております。皆さん方の活発な御議論、御意見を反映できるように、微力ではありますが、そういうふうに努めてまいりたいと思っております。

どうか皆さん方のお力添えをいただきまして、無事この決算特別委員会が終了することを願って、御挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。（拍手）

○比良臨時委員長 それでは、委員長と交代いたします。

〔臨時委員長退席、三島（良）委員委員長席に着

く〕

副委員長の互選について

○三島（良）委員長 それでは、副委員長選挙を行います。

お諮りします。

副委員長選挙は指名推選の方法により行いますか、それとも投票により行いますか。

〔「指名」と呼ぶ者あり〕

○三島（良）委員長 それでは、指名推選の方法により、私のほうから指名をいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○三島（良）委員長 御異議なしと認め、石倉徳章委員を副委員長に指名いたします。

ただいまの指名について御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○三島（良）委員長 御異議なしと認めます。

よって石倉徳章委員が副委員長に当選されました。

ただいま副委員長に当選されました石倉徳章委員の就任の御挨拶をお願いいたします。

○石倉副委員長 それでは、一言御挨拶を申し上げます。

ただいまは皆様方から決算特別委員会副委員長に御推挙をいただきました。誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

私は、三島委員長の補佐をしながら、その職務を務めていきたいと思っております。今、委員長が申し上げられましたように、決算というのは、過去はどうしても予算に比べて違うところがございましたけれども、決算は予算から始まって、そしていろいろな事業が行われて、そしてその結果が問われて、そして決算を審査して次に備えるということでございまして、重要な委員会であるわけでございますし、今も言われましたように、特別な大きな事業が昨年度はあったと、このようなお話でございました。まさにそのとおりでございまして、この決算特別委員会が所期の目的を達しまして、よりよい決算になりますことを私も念願しながら皆様方にお礼を申し上げて、私の御挨拶といたします。大変ありがとうございました。（拍手）

○三島（良）委員長 ありがとうございます。

次に、委員の皆様をお願いします。

9月10日木曜日に行います決算特別委員会において、一般会計決算、各特別会計決算、各企業会計決算に対する総括的な質疑の時間を設けます。

については、総括質疑をされます委員の方は、9月8日火曜日の午後5時までに通告書を事務局まで提出いただきますように、よろしく願いいたします。

また、9月10日木曜日開催の本特別委員会では、総括質疑の後、各会計の決算に対する質疑を行いますが、計数的なことなど、細部にわたるような質疑は避けていただき、各分科会において計数的な質疑等をお願いしたいと思いますので、協力をよろしく願いいたします。

以上で決算特別委員会を散会いたします。御苦労さんでした。

〔午前10時50分散会〕